

安全大会 安全就業担当理事及び 安全就業推進員研修会

平成二十二年七月十六日(金)鹿
児島市与次郎の「マリンパレスかご
しま」で、平成二十二年度安全大会・
安全就業担当理事及び安全就業推進
員研修会が、県内三十シルバー人材
センターから百七名が参加して開催
されました。

大迫連合会会長が次のようなあい
さつを行いました。



全、人命尊重を推進すべく「国民安
全の日」と定められており、また、
シルバー人材センターでは七月を安
全・適正就業強化月間と定め、事故
防止に努めることとしております。
平成十七年度は事故件数が
二百三十二件でしたが、二十一年度
は百六十件となり、連合から各拠点
へ事故状況の情報を提供している成

果だと思っております。

どこの職場でも事故は起こるわけ
ですが、シルバー事業の命は、安全
だと言われ、安全はシルバーの合言
葉です。

安全標語の募集に対し、多数の素
晴らしい標語を応募いただき、いか
に会員の皆さんが常日頃安全に関心
を持っておられるかということであ
ります。

一件でも事故が減ることが願いで
す。意義ある安全大会になることを
祈念しいさつとします。

安全就業講演

「安全管理について」

鹿児島造園技術専科校

坂上 多賀雄 氏



実際の仕事
を通じて常日
頃心掛けてお
られること
を、演壇いっ
ぱいに使って
分かり易く話
されました。

- ① 準備する物は、前日に準備して、翌朝に点検する
- ② 体調管理をする 朝の水の一杯が大事
- ③ 忘れ物をしない
- ④ 10分前に作業現場に到着すること
- ⑤ 作業方法に変更がないか確認してから作業に取り掛かる
- ⑥ 作業依頼者に朝のあいさつをする

- ⑦ ヘルメットについて
・名前・血液型・連絡先等を記入する。
・アゴ紐をきちんとする・頭に合ったものを着用する
- ⑧ 脚立は75度の角度にする
- ⑨ 脚立を設置したらまず物を持たないで乗ってみる
- ⑩ 刈払機を使用する時は「止め」の合図を決めておく

体験発表

「安全就業を目指して」

(社)出水市シルバー人材センター

安全・適正就業対策推進委員長

吉満 弘 氏

(社)出水市シルバー人材センターの
会員は、四百五十四人です。安全・
適正就業対策推進委員会では

- ① 年四回の委員会の開催
 - ② 月一回の安全パトロールの実施
 - ③ 年二回の安全ニュースの発行
 - ④ 安全大会の開催
 - ⑤ 安全標語の募集
- 等を行い、指導・助言に取り組んで
います。

今年度のシルバーの安全標語に
は、「事故防止 他人に任せず 自
分から」を選定しました。

本年度は傷害事故、賠償事故が一
件づつ発生しているので、これを増
やさないためには、
① 毎回、同じことを繰り返し指導し
ていくことを続けていく。
② 就業前、就業後のミーティングを
定着させること。

**安全就業優良
シルバー人材センター表彰**

(社)出水市シルバー人材センター
東申良町シルバー人材センター

③ ヒヤリ・ハットの報告をしてもら
い、他の会員に周知させること。
④ 安全意識の向上に努めること。
等について、プロジェクトを使用
して事故防止の取り組みを分かり易
く説明されました。

平成22年度 安全就業標語入賞作品

最優秀賞	いいだろう 慣れと 油断に事故が待つ (社)志布志市シルバー人材センター 藤川 悟
優秀賞	確認は 安全作業の 道しるべ (社)鹿児島市シルバー人材センター 山下 実大
	安全は 時間と心の ゆとりから (社)鹿児島市シルバー人材センター 立和 名すみ
入選	気を抜いた その一瞬が 事故のもと (社)枕崎市シルバー人材センター 谷 廣海
	気のゆるみ 心のすき間に 危険が潜む (社)鹿屋市シルバー人材センター 蛭川 ツキエ
	安全は 声かけ注意の 積み重ね！ (社)南さつま市シルバー人材センター 前原 逸郎
	災害は、手抜きと慣れの、油断から (社)南九州市シルバー人材センター 峯 真
	安全を 願う心に 事故は無し (社)大崎町シルバー人材センター 宮本 則男

